

4月から水道料金を改定します

建設が進む甲山低区第2配水池。完成後は第1配水池と合わせて市の約3分の1の人口に配水します。地震に強い構造で、災害時の水の確保にも役立ちます

料金改定の背景

災害に強く、安全な水道を維持していくため、4月から水道料金を改定します。市民の皆さんにご負担をお願いすることになりますが、最大限の経営努力に取り組みながら事業を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

水道局総務課・☎2212705

安全な水道を維持するために

●新浄水場の整備

高度な耐震工法を採用して建設。災害時には応急給水活動の拠点となる予定で、給水車50台分の駐車スペース等も備えています。



現在の甲山浄水場の近くに整備する新浄水場（イメージ図）

●管路の耐震化

病院や避難所等の重要給水施設への給水管路を、優先的に耐震性の高い水道管に更新するなど、管路の耐震化を進めています。



老朽管の更新にベースアップして取り組みます

●施設の統廃合（更 新費用の削減）

水需要の減少に合わせて、今後50年間で浄水場を23施設から16施設に、配水池を67カ所から62カ所に減らす予定です。



市では、中長期的な経営基本計画である姫路市水道事業経営戦略に基づき、水道施設や管路の耐震化と老朽化対策に重点的に取り組んできました。

今後は、甲山低区配水池の耐震化（上写真。3年度完了予定）や新浄水場の整備（下図。8年度完成予定）など、基幹施設の更新・耐震化を行う予定です。これらの事業には多額の費用が必要となるため、水道施設の統廃合やダウンサイジング、業務の効率化を進めて経費削減に取り組んでいきますが、なお不足する財源を賄うため、4月から平均12・9%の料金改定を行います。市民の皆さんにご負担をお願いすることになります。災害に強く、安全な水道を維持していくため、ご理解とご協力をお願いします。

新しい水道料金の単価表等については、「ひめじ水道だより」で2、3月ごろに市民の皆さんにお知らせするほか、ホームページにも掲載します。



ID:1445